

5 付 加 価 値 額

- * 付加価値額は3兆3051億円
- * 産業別では、「輸送用機械」が8875億円（構成比26.9%）で最も多い
- * 地域別では、日野市が4474億円（構成比13.5%）で最も多い

(1) 産業別の状況

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が8875億円（構成比26.9%）で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が3713億円（同11.2%）、「電気機械」が3079億円（同9.3%）となっている。

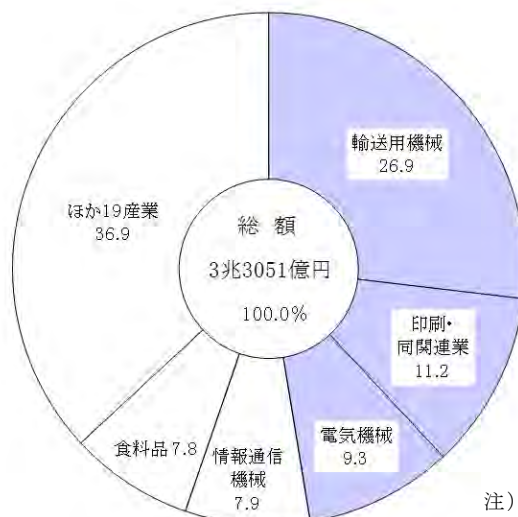
前回と比較すると、12産業が増加し、12産業が減少している。

前回と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「輸送用機械」の1740億円（24.4%）、次いで「情報通信機械」の1079億円（70.7%）、「電子・デバイス」の248億円（36.9%）となっている。

前回と比較して減少した産業のうち減少額が最も多いのは、「印刷・同関連業」の971億円（△20.7%）、次いで「電気機械」の463億円（△13.1%）、「化学工業」の433億円（△20.5%）となっている。

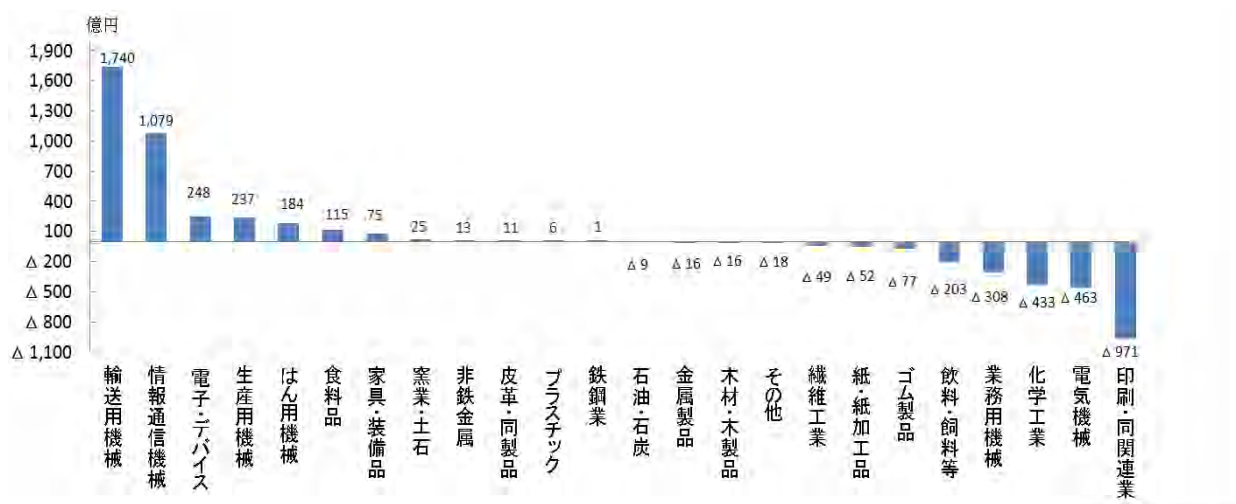
（図22、図23、付表1）

図22 産業中分類別付加価値額構成比（従業者4人以上）



注) 上位3産業に網掛けをしている。

図23 産業中分類別付加価値額対前回増減数（従業者4人以上）



(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が1兆3562億円（構成比41.0%）で最も多く、次いで「10～19人」が2921億円（同8.8%）、「100～199人」が2861億円（同8.7%）となっている。

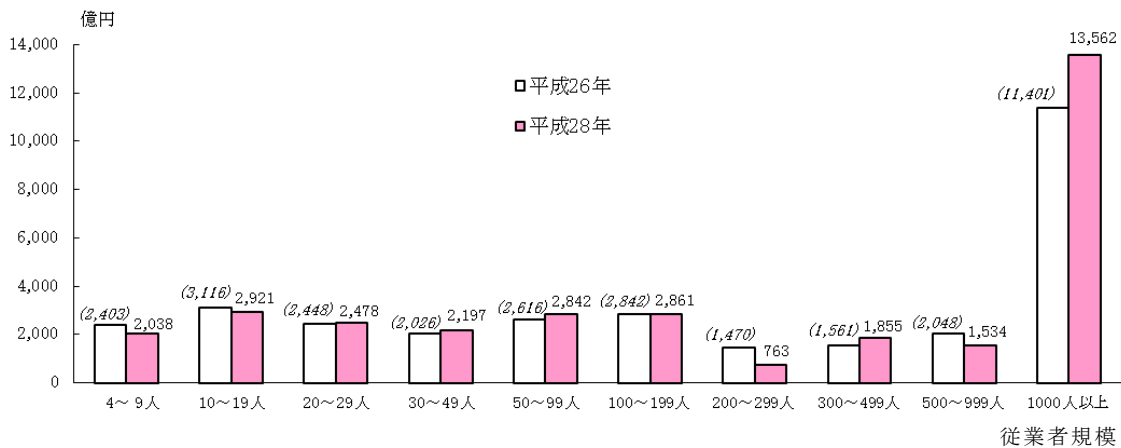
前回と比較すると、6区分が増加し、4区分が減少している。

前回と比較して増加した区分のうち増加額が最も多いのは、「1000人以上」の2161億円（19.0%）、次いで「300～499人」の294億円（18.9%）、「50～99人」の227億円（8.7%）となっている。

前回と比較して減少した区分のうち減少額が最も多いのは、「200～299人」の707億円（△48.1%）、次いで「500～999人」の514億円（△25.1%）、「4～9人」の366億円（△15.2%）となっている。

（図24、付表2）

図24 従業者規模別付加価値額（従業者4人以上）



(3) 地域別の状況

地域別にみると、区部が1兆2082億円（構成比36.6%）、市部が1兆7433億円（同52.7%）、郡部が3522億円（同10.7%）、島部が15億円（同0.0%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、大田区が1700億円（同5.1%）で最も多く、次いで板橋区が1359億円（同4.1%）、墨田区が1245億円（同3.8%）となっている。

市部では、日野市が4474億円（同13.5%）で最も多く、次いで府中市が2845億円（同8.6%）、羽村市が2394億円（同7.2%）となっている。

郡部では、瑞穂町が3317億円（同10.0%）で最も多くなっている。（図25、付表3）

図25 区市町村別付加価値額構成比（従業者4人以上）



注) 区部、市部の各上位5位及び郡・島部の1位を表記都内上位3位の区市に網掛けをしている。